

《担当者名》○松尾淳司 山崎智弘

【概 要】

現代医療において、感染症は治療だけでなく、予防にも重点をおいた対策が重要である。そのためには、既存の知識にとらわれない新しい発想の下、感染症が引き起こされる詳細な分子メカニズムを理解し、病原体の弱点を探る必要がある。本講義では、まず 1) 感染とは、および 2) 各種病原体による感染機構、を講義することで病原体の感染メカニズムを理解し、それらを解き明かすための 3) 病原体の感染メカニズムの解析手法について演習形式で学習する。

【学修目標】

- 1) 臨床検査に必要な知識と技術を習得するために、感染症を引き起こす生物の概要について理解する。
- 2) 感染症を引き起こす生物の種類を挙げ、その概要を説明できる。
- 3) 感染現象のメカニズムの概要を説明できる。
- 4) 感染現象の解析法の種類を挙げ、その概要を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	感染症を引き起こす生物	・講義概要 ・感染生物学 キーワード：病原体、感染機構	松尾淳司
2) 13	感染現象のメカニズム	・論文抄読 ・プレゼンテーション ・論文内容のディスカッション キーワード：論文抄読、資料作成、発表	松尾淳司 山崎智弘
14) 15	まとめ	・実験結果のディスカッション ・成果発表 ・まとめ キーワード：データ解析、資料作成、発表	松尾淳司 山崎智弘

【授業実施形態】

面接授業

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

課題レポート 100%

【学修の準備】

各回に記載された用語の意味を事前に調べておくこと。（80分）

授業で配布した資料について理解しておくこと。（80分）

【ディプロマポリシーとの関連性】

（DP2）臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

（DP6）臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。